

（資料2）

みやこ町まちづくり公社設立について

1. 公社設立の背景と目的

福岡県京都郡みやこ町では、人口減少や少子高齢化が進む中、人口減少下であっても豊かな暮らしと地域のつながりを保ち、新たな挑戦と仕事生まれ続けるまちの実現を目標として掲げています。

こうした地域づくりの実現に向け、持続可能なまちづくりの新たな仕組みとなる「みやこ町まちづくり公社（仮称）」の設立を目指しています。

2026年10月13日に公社の設立をスピード感をもって進めるため設立準備協議会が発足させました。

2. まちづくり公社が目指すこと

みやこ町まちづくり公社は、2025年3月に策定された「みやこ町グランドデザイン」の実現に向け、行政と民間の力をつなぎ、地域課題の解決と新たな価値の創出に取り組む地域公社です。

まちづくり公社は公益性の高いプロジェクトを行政だけで進めるのではなく、町民、地域事業者、企業、金融機関、教育機関など多様な主体をつなぎ、地域に必要な事業（建築・リノベーション、公共施設の運営管理、ランドスケープデザイン、ビジネス支援、人材育成等）を生み出す民間事業会社です。単に行政施策を受託する組織ではなく、地域課題を自ら事業に変え、官民の間に立つ「地域のエンジン」となることを目指しています。

具体的には、以下の3つの柱に取り組み、不動産、建築、官民連携（PPP/PFI）、経営、資金調達、広報・デザイン、対話等の専門家ネットワークを活かした事業化を推進します。

①「住む」（住宅・景観）

町営住宅の再編、新しい住宅供給、空き家活用、移住定住推進など選べる住環境を創出。美しい自然や街並みと調和したまちのランドスケープ（風土・風景）をデザイン

②「働く」（事業創出・産業）

起業・創業支援、新規事業の創出、企業連携、地域資源を活用したビジネスづくりを通じ、町の中に新しい仕事を生み出す。

③「混ぜる」（交流・関係人口）

(資料2)

町民、移住者、若者、企業、行政が出会い、新たな活動やプロジェクトが生まれる「開かれた場」と仕組みをつくる。

3. 私たちが大切にしたいこと ——「対話から始める」

立場や世代、考え方の異なる人たちがフラットに話し合う「対話」を、単なる会議やイベントの手法にとどめず、組織風土の基本姿勢とします。最初から一つの答えを決め打ちせず、対話を重ねながら共創するアプローチを重視します。

4. サポート体制

個人の能力や人脈だけに事業を依存させない体制を重視します。本ポジションに求める資質は「すべての実務を一人でこなすこと」ではなく、「必要な人を見つけ、つなぎ、一緒に考え、チームとして物事を前に進めること」です。

○専門家ネットワーク：不動産・建築、PPP/PFI・官民連携、経営・事業開発、財務・会計、資金調達、起業・創業支援、広報・デザイン、対話・ファシリテーション等の専門家と連携します。

○チーム編成：行政職員、専門家、地域事業者、町民、地域おこし協力隊などと機動的なチームを組み、メンバーが力を発揮できる環境を構築します。